

西協市の子どもたちのより良い学びに向けて

令和6年度全国学力・学習状況調査の結果より

西協市教育委員会

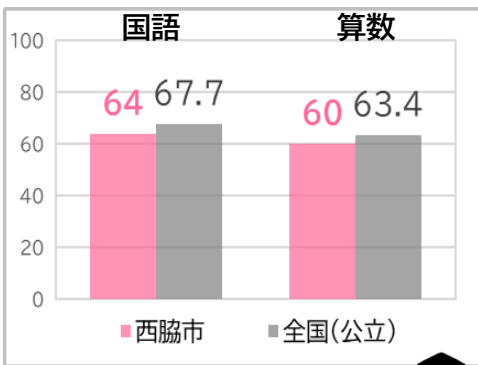
令和6年4月18日に小学6年生と中学3年生を対象とした全国学力・学習状況調査が行われました。この調査は、子どもたちの学力・学習状況を把握・分析し、その成果と課題から学習指導の充実や学習状況の改善に役立てることを目的としています。本調査の結果は、子どもたちの学力・学習状況の一側面を示すものではありませんが、資料の一つとして、本市の教育施策改善や学校での取組に生かし、子どもたちの学びの充実につなげていきたいと考えています。

調査によって見えた課題の改善をめざします！

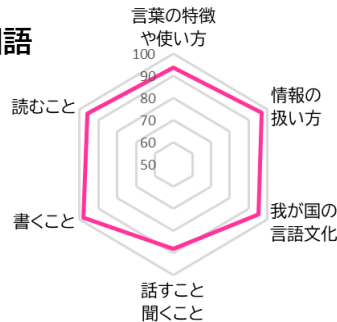
小学6年生

各教科、領域別の状況 ※全国平均を100として西協市平均と比較

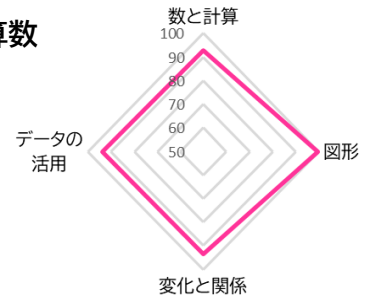
教科の調査結果における平均正答率(%)



国語



算数



国語	領域	傾向
	話すこと 聞くこと	目的や意図に応じて、集めた材料を分類したり、関係づけたりして、考えをまとめること
	読むこと	人物像や物語の全体像を具体的に想像したり、表現の効果を考えたりすること

算数	領域	傾向
	数と計算	計算に関して成り立つ性質を活用して、計算の仕方を考察し、求め方と答えを式や言葉を用いて記述すること
	変化と関係	速さが一定であることを基に、道のりと時間の関係について考察すること

学習のがんばりポイント!

【国語】

○目的や意図に応じて情報(資料・叙述等)を整理・分析すること

【算数】

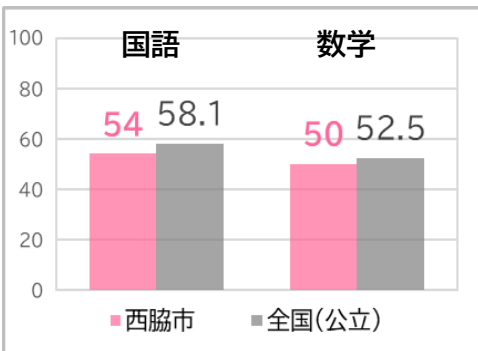
○定義や性質等、学んだ知識や技能を活用・発揮すること



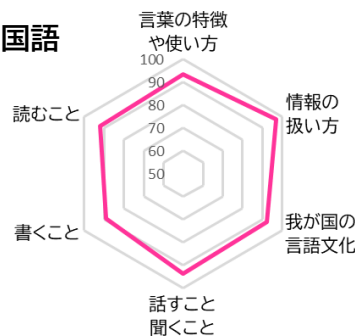
中学3年生

各教科、領域別の状況 ※全国平均を100として西協市平均と比較

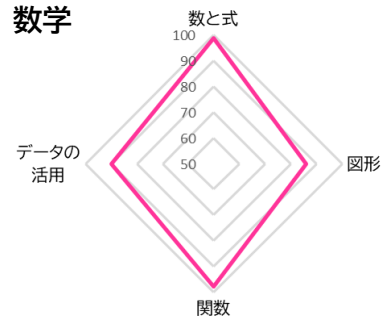
教科の調査結果における平均正答率(%)



国語



数学



国語	領域	傾向
	話すこと 聞くこと	自分の考えが話し合いの話題や発言の内容とどのように結びついているか、つながりがわかるようまとめること
	書くこと	目的や意図に応じて、集めた情報を整理し、伝えたいことを明確にすること

数学	領域	傾向
	データの活用	データの分布の傾向を比較して読み取り、判断の理由を説明することや※四分位範囲を用いて分布の特徴を捉えること
	図形	図形の移動の性質を見いだすことや筋道を立てて考え、証明すること

学習のがんばりポイント!

【国語】

○話し合いの目的や話題とつなげて自分の考えをまとめること

○情報(資料・叙述等)を整理・分析し、まとめること

【数学】

○目的に応じたデータの収集・整理・批判的考察、判断すること



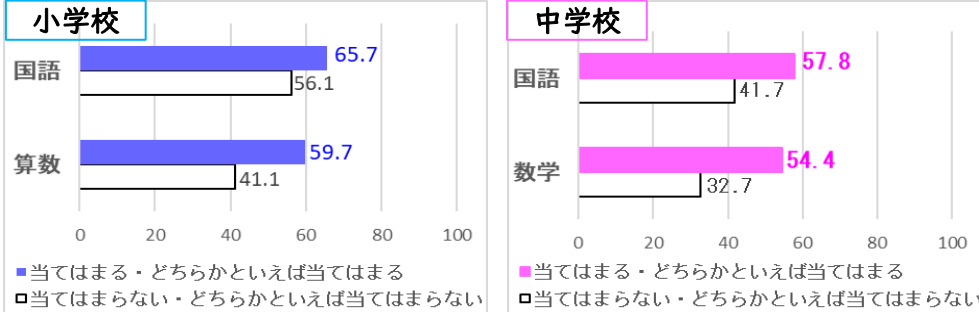
※データの値が小さい順に並べ、4等分したときの境界にあたる3つの数を「四分位数」といい、この3つの数のうち一番大きいものから一番小さいものを引いたのを「四分位範囲」といいます。

深い学びを実現する主体的・対話的な学びを实践します！

西脇市では、学力向上をめざし、『主体的・対話的で深い学び』となるよう各学校において授業改善を進めています。本調査の国語・算数/数学の調査結果と、児童生徒質問紙を組み合わせた集計(クロス集計)結果によると、自分から学習に取り組んだり、周りの友だちと話し合っただりすることに関する質問では、肯定的に回答した児童生徒は、そうでない児童生徒と比べ、正答率が高い結果となりました。学習内容の理解を深めるためには、自分から主体的な学びと、友だちや周りの人と話し合う対話的な学びは、学習内容の理解を深めることにつながっていると考えられます。

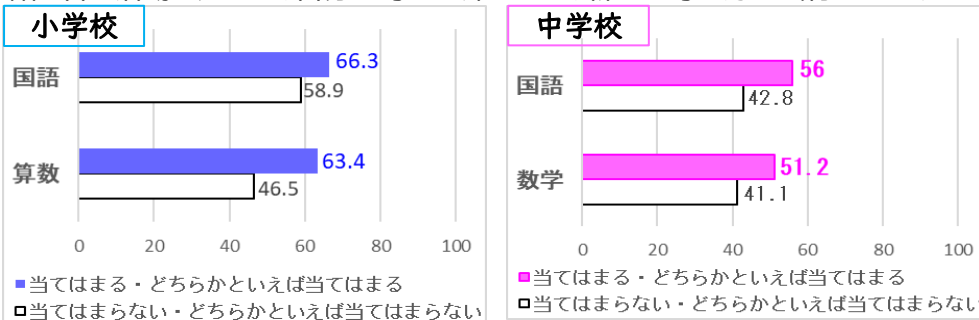
「教科に関する調査」と「質問紙調査」とのクロス集計(回答状況別平均正答率)

『授業では、課題解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいますか』



課題解決に向けて自分で学びを調整しながら、粘り強く学ぶことをめざし、授業での学習過程を工夫し、子どもたちの主体性を引き出せるよう工夫していきます。

『話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、新たな考え方に気付いたりすることができていますか』

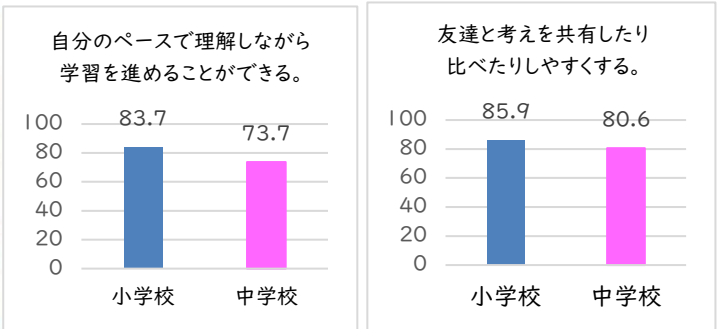


小・中学校ともに、ペアやグループ等、様々な形態で話し合いを行い、相談したり多様な考えにふれたりする機会を学習活動で設定するようにしていきます。

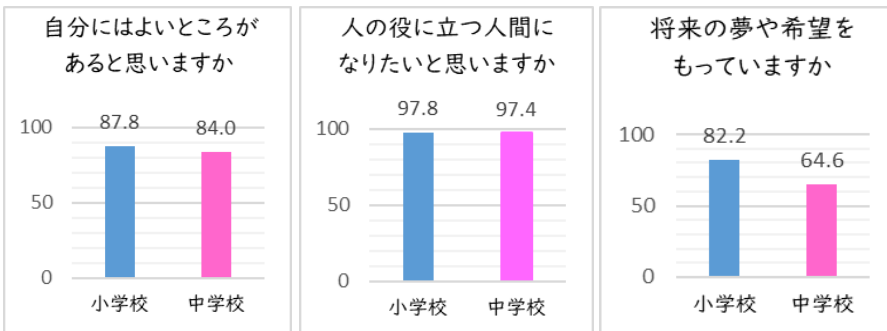
今回の児童生徒質問紙では、右記のようにICT機器を活用した『主体的・対話的な学び』や『自律的な学び』に関する項目がありました。

西脇市では、子どもが1人1台端末を日常的に活用し、自分に適した学習内容や方法を選べたり、友だちと協働して学べる場をつくったりする等、子どもが主体となる授業づくりをめざしています。子どもが自ら学び続ける力を育み、子ども一人ひとりの可能性を最大限に引き出すことができるようにしていきます。

学習の中で、PC・タブレットなどICT機器の活用に関して7つの質問がありました。以下はその一部の回答状況です。(「とても思う」「そう思う」と回答した児童生徒の割合)



学びを支える見えない学力(非認知能力)を育てます！



西脇市では、見えない学力ともいわれる非認知能力の育成に重点をおいています。学校生活における教科学習とともに、学級活動や児童会・生徒会活動、学校行事など特別活動の充実を図っていきます。子どもが周りの人とのかかわりの中で、自己肯定感や自己有用感を高め、『自分を向き合う力』や『他者とつながる力』、『自分を高める力』といった非認知能力の向上をめざしていきます。

保護者の皆様へのお願い

子どもたちの学びには、家庭での学習習慣や基本的な生活習慣を身に付けることがとても大切です。子どもたちが自立し、こころ豊かに成長できるよう、ご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

- 家庭学習 子どもが落ち着いて家庭で学習できるように、励ましの声かけ等により、がんばりを認めている。
- ネット利用のルール作り スマートフォンやタブレット・パソコン等の使い方について、子どもと話し合っ、家庭でルールを決めている。
- 家族とのふれあい 食事を一緒にとったり、就寝前の時間を利用したりして、学校での生活や勉強等について話し合っている。
- 読書習慣 絵本の読み聞かせをしたり、一緒に図書館へ行ったりする等、子どもが本に親しむ工夫をしている。